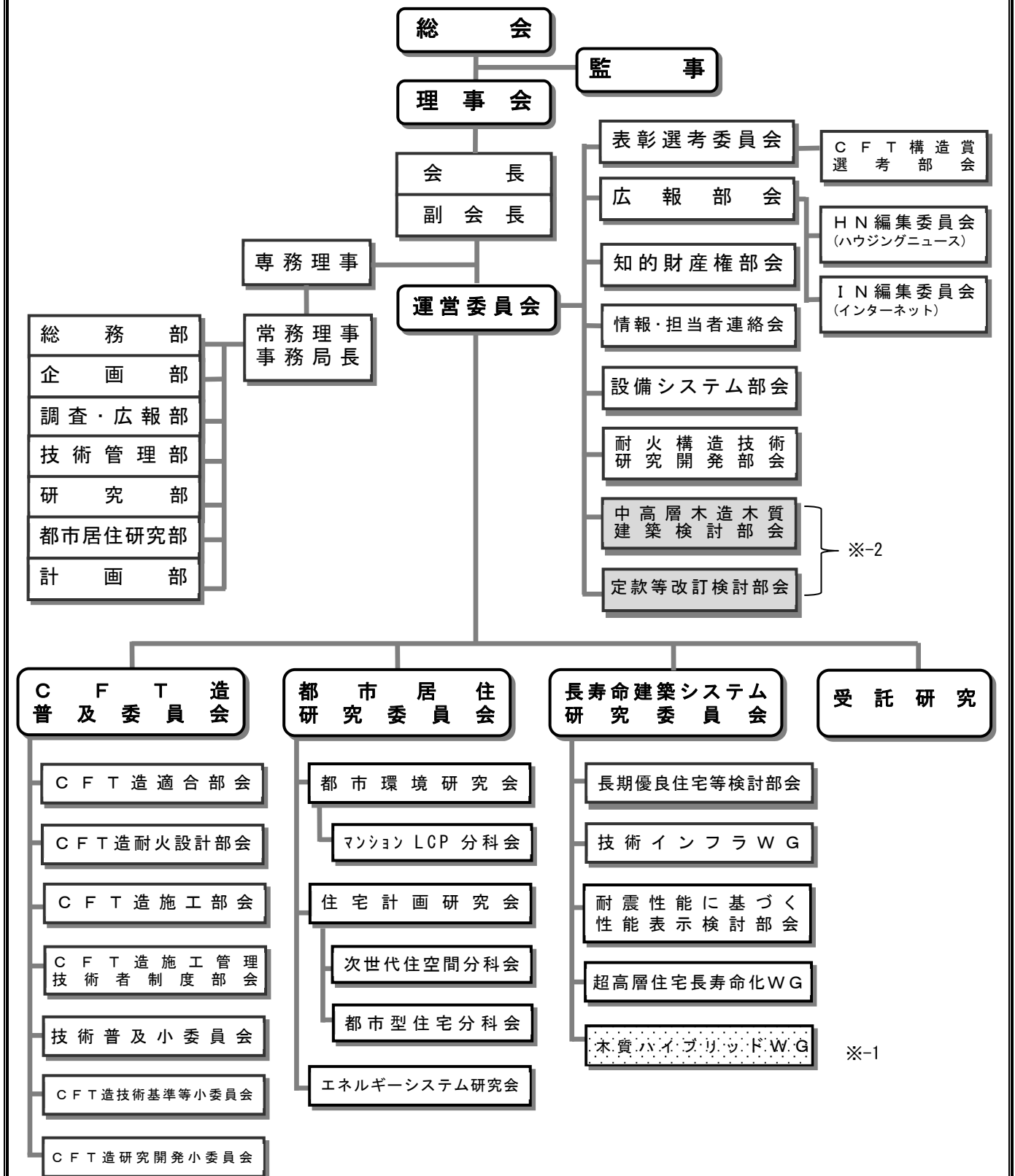


2024年度事業計画

2024 年度協会組織

2024. 5. 24



※-1 網掛けは2024年度からの新規組織を示す。

※-2 塗りつぶしは2024年度第1回理事会第5号議案の承認により設置。

総会・理事会

<p>構成</p>	<p>総会：正会員 65 社 理事会：理事 24 名、監事 2 名</p>
<p>年度事業計画</p>	<p>1. 第1回理事会：2024年5月23日(木)開催 会場：貸会議室 AP 日本橋『ルームG』※Teams 併用 決議事項：第1号議案 2023年度事業報告承認の件 第2号議案 2023年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の件 第3号議案 2024年度事業計画承認の件 第4号議案 2024年度収支予算承認の件 第5号議案 中高層木造木質建築の課題検討の件 第6号議案 2024年度表彰者選考承認の件 第7号議案 役員改選に伴う新役員候補者推薦の件 第8号議案 事務局長就任承認の件 第9号議案 2024年度通常総会招集の件 報告事項：第10号議案 職務執行状況報告の件 第11号議案 会員退会及び現況報告の件</p> <p>2. 通常総会：2024年6月17日(月)開催予定 会場：ホテルグランドアーク半蔵門『光の間』 決議事項：第1号議案 2023年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の承認の件 第2号議案 任期満了に伴う役員選任の件 報告事項：第3号議案 2023年度事業報告の件 第4号議案 2024年度事業計画の件 第5号議案 2024年度収支予算の件 第6号議案 会員の現況報告の件</p> <p>3. 第1回臨時理事会：2024年6月17日(月)開催予定 会場：ホテルグランドアーク半蔵門『光の間』 決議事項：議案 会長、副会長等の選定の件 ・総会で選任された新体制の役員で実施する。</p> <p>4. 2024年度表彰式：2024年6月17日(月)開催予定 会場：ホテルグランドアーク半蔵門『光の間』</p> <p>5. 懇親パーティー：2024年6月17日(月)開催予定 会場：ホテルグランドアーク半蔵門『華の間』</p> <p>6. 第2回理事会：2024年11月27日(水)開催予定 会場：貸会議室 AP 虎ノ門『ルームA』※Teams 併用 決議事項：第1号議案 2024年度上半期事業報告及び下半期事業計画の件 第2号議案 2024年度上半期貸借対照表及び正味財産増減計算書等の 報告並びに下半期収支予算の件 報告事項：第3号議案 職務執行状況報告の件 第4号議案 会員の現況報告の件 等</p>

年度事業計画	<p>7. 第2回臨時理事会：2025年3月実施予定</p> <p>実施方法：3月上旬に理事・監事宛に提案書類を送付し、全理事から同意書を、全監事から確認書を提出いただき成立させる。（決議の省略の方法）</p> <p>提案事項：第1号議案 2025年度主要行事予定(案)承認の件 第2号議案 2024年度暫定事業計画案(4-5月)承認の件 第3号議案 2024年度暫定収支予算案(4-5月)承認の件 第4号議案 決議があったとみなされる日を決定する件 等</p>
--------	--

運営委員会等

組	織		
			<p>※塗りつぶしは2024年度第1回理事会第5号議案の承認により設置。</p>

運営委員会（櫻村委員長：竹中工務店）

構成	<p>会長・副会長・理事会社：11社11名</p> <p>オブザーバー：国土交通省、住宅金融支援機構、都市再生機構</p>
年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会上程提案事項及びその他共通事項の審議・立案 ・各種委員会等の検討・審議結果並びに総務・人事・財務状況について把握・検討・承認
委員会開催	<p>月例開催(原則毎月第1水曜日)：</p> <p>4/3, 5/8 (予定)6/5, 7/3, 8/7, 9/4, 10/2, 11/6, 12/4, 1/8, 2/5, 3/5</p>
実施内容	<p>※2024年度に実施する主な開催回のみ列記</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回運営委員会：2024年4月3(水)開催 <ol style="list-style-type: none"> (1) 事務局新体制について－中西専務理事 (2) 前回議事録の確認 (3) 2023年度第2回臨時理事会実施報告 (4) 各委員会(2024年3月度)活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・広報部会 ・耐火構造技術研究開発部会 ・CFT造普及委員会 ・都市居住研究委員会 ・長寿命建築システム研究委員会 (5) 2024年度組織の検討状況について－中西専務理事 (6) 木造木質建築・高知視察について(報告)－櫻村委員長 (7) オブザーバーからの情報提供・ご意見等

<p>実 施 内 容</p>	<p>2. 第2回運営委員会：2024年5月8日(水) 開催</p> <p>(1) 前回議事録の確認</p> <p>(2) 各委員会(2024年4月度)活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報部会 ・ 耐火構造技術研究開発部会 ・ CFT 造普及委員会 ・ 都市居住研究委員会 ・ 長寿命建築システム研究委員会 <p>(3) 2024年度第1回理事会を開催する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会開催のご案内及び議事次第(案) ・ 通常総会・表彰式・懇親パーティー実施について ・ 各議案のご説明(理事会議案書) <p>(4) オブザーバーからの情報提供・ご意見等</p> <p>3. 第8回運営委員会：2024年11月6日(水) 開催予定</p> <p>(1) 前回議事録の確認</p> <p>(2) 各委員会(2024年10月度)活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報部会 ・ 耐火構造技術研究開発部会 ・ CFT 造普及委員会 ・ 都市居住研究委員会 ・ 長寿命建築システム研究委員会 <p>(3) 2024年度第2回理事会を開催する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会開催のご案内及び議事次第(案) ・ 各議案のご説明(理事会議案書) <p>(4) オブザーバーからの情報提供・ご意見等</p> <p>4. 第12回運営委員会：2025年3月5日(水) 開催予定</p> <p>(1) 前回議事録の確認</p> <p>(2) 各委員会(2025年2月度)活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報部会 ・ 耐火構造技術研究開発部会 ・ CFT 造普及委員会 ・ 都市居住研究委員会 ・ 長寿命建築システム研究委員会 <p>(3) 2024年度第2回臨時理事会を実施する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会実施のご案内及び提案書(案) ・ 各議案のご説明
<p>表彰選考委員会 (櫻村委員長：竹中工務店)</p>	
<p>構 成</p>	<p>正会員：3社(4名)</p>
<p>年度事業計画</p>	<p>2024年度 CFT 構造賞、功績賞、功労賞 受賞者の選考</p>
<p>委員会開催</p>	<p>年1回開催：2024年5月7日(火) 開催</p>
<p>実 施 内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CFT 構造賞選考は、部会から推薦のあった候補作品を委員会にて選考し、理事会に上程した。 ・ 功績賞及び功労賞は、2月上旬に各委員会委員長(運営、CFT 造普及、都市居住、長寿命)へ候補者の推薦依頼を行い、推薦のあった功績賞及び功労賞候補を取り纏め、委員会にて選考し、理事会に上程した。
<p>CFT 構造賞選考部会 (上田部会長：竹中工務店)</p>	
<p>構 成</p>	<p>正会員：4社(5名)</p>
<p>年度事業計画</p>	<p>2024年度 CFT 構造賞候補を選出し、表彰選考委員会に推薦</p>
<p>部 会 開 催</p>	<p>年1回開催：2024年4月25日(木) 開催</p>
<p>実 施 内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月上旬に応募概要を協会HPに掲載するとともに、会員窓口にメールで通知した。 ・ 応募期間を2/1～3/26とし、提出された選考資料を選考部会委員に配布した。 ・ 4/25の選考部会にて部会の推薦案を決定し、表彰選考委員会へ推薦した。

広報部会（山田部会長：東京ガス）	
構 成	正会員：10社(10名)、オブザーバー：1名
年度事業計画	2024年度広報活動全般の企画、実施の確認と承認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報部会の開催 ・ アーバン・ハウジング・フォーラムの開催 ・ 調査研究発表会の開催 ・ ハウジングニュース編集委員会の活動の確認と承認 ・ インターネット編集委員会の活動と承認 ・ その他 関連団体活動への対応等
部 会 開 催	年3回開催：4/15（予定）7/26, 10/25
実 施 内 容	<p>1. 広報部会</p> <p>(1) 第1回広報部会：2024年4月15日(月)開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新都市ハウジングニュース状況報告と討議 2) 協会ホームページの運営・更新状況の確認 3) アーバン・ハウジング・フォーラムの開催計画の報告 4) 調査研究発表会開催の討議 <p>2. アーバン・ハウジング・フォーラム：年3回開催（内1回は見学会・視察） Web配信も併せて実施の検討をする。</p> <p>3. 調査研究発表会（年1回開催）：2024年10月中旬～11月下旬 開催予定 会 場：清水建設(株)社内施設で調整中 時 間：13:30～17:30 プログラム及び会員交流会(会場)については現在検討中</p> <p>4. ハウジングニュース編集委員会、インターネット編集委員会については、 該当委員会の欄を参照。</p> <p>5. その他 関連団体活動への対応 (一社)住宅生産団体連合会 広報連絡会への参加予定</p>
ハウジングニュース編集委員会（荒城委員長：鹿島建設）	
構 成	正会員：9社(9名)
年度事業計画	新都市ハウジングニュースの企画・編集・発行（年4回発行）
委員会開催	月例開催：4/15,（予定）毎月
実 施 内 容	<p>新都市ハウジングニュースの企画・編集・発行</p> <p>(1) Vol. 112 春号(5月下旬発行予定) テーマ：「新しい素材が拓くこれからの建築」 巻頭論文：「持続可能な建設に向けた新材料の研究」 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 酒井 雄也 准教授</p> <p>(2) Vol. 113 夏号(8月下旬発行予定) テーマ：(仮)「木造建築・木質建築の可能性と未来」 巻頭論文：(仮)「木材工学の可能性－森林育成と脱炭素社会への貢献」 名古屋大学 大学院生命農学研究科 山崎 真理子 教授</p> <p>(3) Vol. 114 秋号の企画・編集(11月下旬発行予定) テーマ：(仮)「2024年度調査研究発表会・報告」</p>

	(4) Vol. 115 冬号の企画・編集(2025年2月下旬発行予定) テーマ : 「検討中」
インターネット編集委員会 (猪里委員長 : 大成建設)	
構 成	正会員:3社(4名)
年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運営・情報更新 ・ホームページの改良検討(表紙の写真等更新、コンテンツの収集・整理他) ・メールマガジンの配信(原則年月4回)、運営方法の検討
委員会開催	年3回開催 : (予定)6/21, 12/20, 3/21
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページの改良検討(表紙の写真等更新、コンテンツの収集・整理他) 2. ホームページ閲覧促進のためページ構成改良の検討 等
知的財産権部会 (山川部会長 : 清水建設)	
構 成	正会員:8社(8名)
年度事業計画	知的財産権に関わる判例・論考等の輪講
部 会 開 催	年4回程度開催 : (予定)6月, 9月, 12月, 3月
実施内容	<p>テーマ : 『知的財産権に関わる判例・論考等の輪講』 ～新都市ハウジング協会の活動で生じ得る知的財産権に関するもの～</p> <p>主 旨 : 部会メンバーが各自個別テーマを持ち寄り、討議を通して全メンバーのレベルアップと「知」の共有化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に開催する第1回部会において、上記テーマを今年度も継続するか、新たなテーマを選定するか議論する予定。 ・現在、部会メンバー間にてメールのやり取りで意見交換を実施中。
情報・担当者連絡会	
構 成	正会員:65社(65名)
年度事業計画	会員への理事会議案等の説明及び協会活動についての意見交換他
連絡会開催	年2回実施 : 5/17, 11月中旬頃
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回情報・担当者連絡会 : 2024年5月17日(金)開催 (Teams 併用) <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度第1回理事会各議案のご説明 ・2024年度主要行事予定について ・通常総会、表彰式、懇親パーティー開催について 2. 第2回情報・担当者連絡会 : 2024年11月中旬 資料配布予定 <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度第2回理事会議事次第及び議案書綴りを協会ホームページに掲載し、担当者へメールでご案内する。
設備システム部会 (大西部会長 : 大阪ガス)	
構 成	正会員 : 6社 (6名) オブザーバー : 1名
年度事業計画	<p>良好な都市居住環境に資する建築設備・施設・内外装等に関し、見学会を企画し、見学会を通じて情報収集と発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会活動の一端として、見学内容に関連する委員会等への案内を行い、得られた情報を委員会等の活動に生かす。
部 会 開 催	原則年4回 第1回 : 5月末(予定) 以降、見学先との調整により開催時期決定

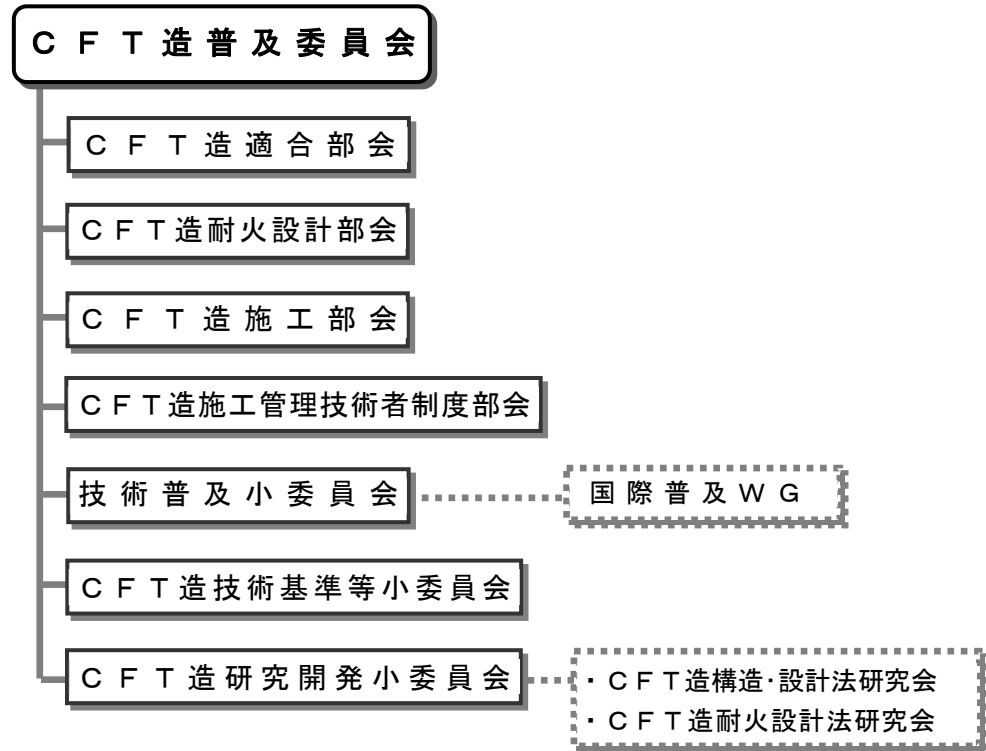
実 施 内 容	<p>1. 第1回部会</p> <p>(1) 前年度の活動実績を確認</p> <p>(2) 2024年度活動方針等について討議</p> <p>(3) 施設見学先の選定</p> <p>2. 第2回～4回部会は、施設見学会を軸として活動し、情報収集・発信を行う。</p>
耐火構造技術研究開発部会 （宮本部会長：鹿島建設）	
構 成	正会員：15社(16名)、オブザーバー：7名
年 度 事 業 計 画	<p>2022年度よりコンソーシアムを立ち上げ、活動期間を3年間とする。合成耐火被覆鉄骨造(柱・梁)の耐火構造技術の研究開発を行う。</p> <p>1. 2024年度の活動計画を立案する。</p> <p>2. 加熱予備試験を実施し、性能評価試験の仕様を決定する。</p> <p>3. 順次、性能評価試験を実施し、合成耐火構造の大臣認定を取得する。</p>
部 会 開 催	月例開催：4/5, 5/10, (予定) 6/7, 7/4, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7

以下は、2024年度第1回理事会(2024.5.23)における『第5号議案：中高層木造木質建築の課題検討及び定款等の見直し検討の件』の承認により設置。

中高層木造木質建築検討部会 （部会長：学識経験者に委嘱予定）	
構 成	木造木質関連技術等に専門的知見を有する正会員、オブザーバー
年 度 事 業 計 画	中高層建築物への木質材料利用を促進するため、今後の産官学の研究協力体制による解決や、法令改正による解決に資するような、技術的・社会システムのな、協調領域における共通課題を検討する。
部 会 開 催	<p>第1回部会：7/12(予定)</p> <p>設置期間を2024年6月より1年間とする。進捗状況によっては延長する。2024年度第2回理事会(2024.11.27)に検討状況の中間報告、2025年度第1回理事会(2025.5)を目標に検討結果を取りまとめ報告する。</p>
定款等改訂検討部会 （部会長：運営委員長）	
構 成	運営委員長、副委員長、専務理事及び運営委員から若干名
年 度 事 業 計 画	当協会の目的、事業範囲、会員等、定款及び関係規程等の見直し案の検討をする。
部 会 開 催	<p>(できる限り運営委員会開催時に合わせて)年4回程度開催</p> <p>設置期間を2024年6月より1年間とする。進捗状況によっては延長する。2024年度第2回理事会(2024.11.27)に検討状況の中間報告、2025年度第1回理事会(2025.5)を目標に検討結果を取りまとめ報告する。</p>

CFT造普及委員会等

組 識



CFT造普及委員会 (中尾委員長：日本設計)

構 成

正会員:5社(7名)、オブザーバー:1名

年 度 事 業 計 画

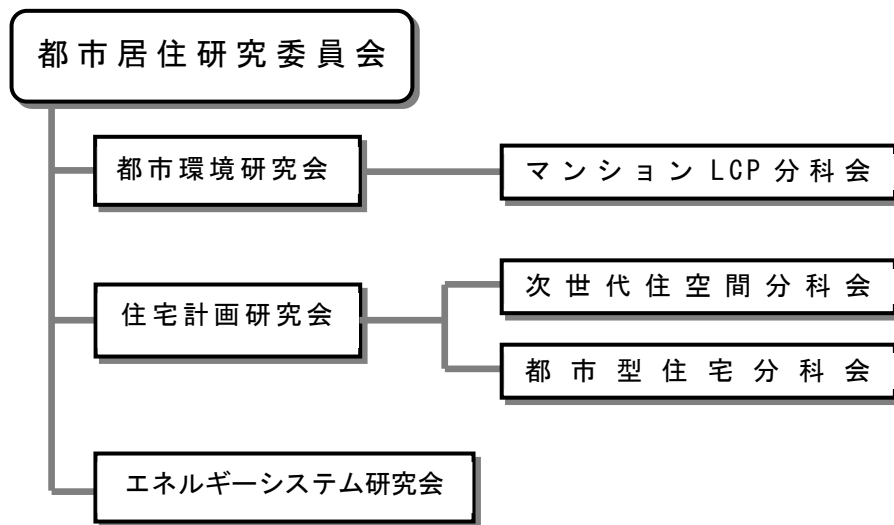
- CFT造の普及・技術指導・研究開発事業の展開を図る。
1. CFT造の普及事業
 - (1) 施工技術習得指導の実施 (技術普及小委員会)
 - (2) 施工管理技術者認定試験及び更新講習の実施
(CFT造施工部会、CFT造施工管理技術者制度部会)
 - (3) 施工管理技術者制度及び施工技術ランク制度のフォロー
(CFT造施工部会、技術普及小委員会)
 - (4) 技術基準・技術指針等の改訂
(技術基準等小委員会、CFT造施工部会、CFT造耐火設計部会)
 - (5) 設計・施工技術者への参考資料の提供
(技術基準等小委員会、CFT造施工部会、CFT造耐火設計部会)
 - (6) CFT造建物の普及状況の調査 (CFT造建物実績調査アンケートの実施)
 - (7) CFT造に係る制度の整備・改善の検討 (技術普及小委員会)
 - (8) 行政、確認機関等との連携の検討
 - (9) CFT造技術の海外展開の検討 (技術普及小委員会)
 2. CFT造の技術指導事業
 - (1) 指針適合の技術指導 (CFT造適合部会)
 - (2) 施工計画の技術指導 (CFT造施工部会)
 - (3) 耐火設計の技術指導 (CFT造耐火設計部会)
 3. CFT造関連の研究開発事業 (CFT造研究開発小委員会)
 - (1) 必要な開発課題の抽出
 - (2) 研究会の編成と柔軟な研究開発の推進
 - (3) 研究開発成果の事業への反映

委員会開催	月例開催：4/10, 5/15, (予定)6/12, 7/10, 8/21, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11, 1/15, 2/12, 3/12
CFT造適合部会 (浅岡部会長：鹿島建設)	
構成	正会員：3社(4名)
年度事業計画	CFT造技術指針に基づき設計されたCFT造柱及び関連部位について技術指導を行う。 ・申請建物の指針適合技術指導の実施、普及委員会への報告
部会開催	適宜開催：4/4
CFT造耐火設計部会 (丹羽部会長：大林組)	
構成	正会員：12社(13名)、オブザーバー：3名
年度事業計画	CFT造耐火設計指針に基づき設計されたCFT造柱及び関連部位について技術指導を行う。また、CFT造耐火設計関連技術資料を継続的に整備する。 1. 申請建物の耐火設計に関する技術指導及び普及委員会への報告 2. 「CFT造耐火設計指針」のフォロー・整備 3. 普及のための技術資料の整備
部会開催	適宜開催：(CFT造耐火設計法研究会へ参加)
CFT造施工部会 (浅岡部会長：鹿島建設)	
構成	正会員：11社(12名)、オブザーバー：1名
年度事業計画	CFT造技術指針に基づき作成された施工計画書の技術指導及びCFT造施工管理技術者への技術講習を行う。また、CFT造施工関連の制度のフォロー・整備及び技術資料の整備を継続的に実施する。 1. 申請建物の施工計画に関する技術指導、普及委員会への報告 2. 施工管理技術者制度・施工ランク制度のフォロー・整備 3. 講習会の開催 (1) 施工管理技術者更新講習(7/23, 8/2 予定 @東京) (2) 施工管理技術者認定試験における試験前講習(10/11 予定 @東京) 4. CFT造技術指針等のフォロー・整備・改訂 ・「CFT造技術指針(改訂版)」改訂講習会の準備及び実施 5. 普及のための技術資料の整備
部会開催	原則月2回開催：4/8, 4/22, 5/14 (予定)5/27, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 8/26, 9/9, 9/24, 10/15, 10/28, 11/11, 11/25, 12/9, 1/10, 1/27, 2/10, 2/25, 3/10, 3/24
CFT造施工管理技術者制度部会 (井上部会長：竹中工務店)	
構成	正会員：6社(7名)
年度事業計画	CFT造施工管理技術者認定試験を実施する。 1. 資格登録のための認定試験の実施 (1) 試験問題の作成及び認定試験の準備 (2) 認定試験の実施(10/11 予定 @東京) (3) 答案の採点・合格点・合格者数を決定し、普及委員会へ報告
部会開催	適宜開催：3/29, 4/19, (予定)5/24, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 8/26, 10/18, 10/24, 11/1

技術普及小委員会 （神代委員長：大林組）	
構成	〔習得指導〕 正会員：2社(2名)、個人会員：1名 〔国際普及〕（香田主査：清水建設） 正会員：7社(8名)
年度事業計画	中堅建設業者に対する施工技術習得指導及びCFT造技術の海外展開を検討する。 1. 未経験企業等に対するCFT造施工技術の習得指導 2. 技術ランクに応じたCFT造施工技術の習得指導 3. CFT造技術の海外展開（国際普及WG） ・ISO規準化への対応 ・国際普及のための活動(国交省支援事業のための準備)
委員会開催	〔習得指導〕 適宜開催： 〔国際普及〕 適宜開催：
CFT造技術基準等小委員会 （出雲委員長：大成建設）	
構成	正会員：7社(11名)、協力委員：1名
年度事業計画	CFT造関連技術資料を継続的に整備する。 1. 「CFT造技術指針」等の運用・整備・改訂 ・「CFT造技術指針（改訂版）」改訂講習会の準備及び実施 2. 普及のための技術資料の整備
委員会開催	適宜開催：4/19
CFT造研究開発小委員会 （福元委員長：鹿島建設）	
構成	小委員会 正会員：4社(4名) 〔CFT造構造・設計法研究会〕（平田主査：大林組）15社(16名),オブザーバー2名 〔CFT造耐火設計法研究会〕（西村主査：竹中工務店）14社(21名),オブザーバー2名
年度事業計画	CFT造に係わる研究開発を実施し、技術指針等への展開を図る。 1. CFT造に係わる研究開発課題の抽出 2. CFT造に係わる研究開発の推進 3. 研究開発成果の活用
委員会開催	・小委員会 年3回開催：(予定)6/12, 12/11, 3/12 ・CFT造構造・設計法研究会 適宜開催： WG1（理論・ソフト開発）・WG2（境界条件）・WG3（精度検証） 適宜開催： ・CFT造耐火設計法研究会 適宜開催：

都市居住研究委員会等

組 織



都市居住研究委員会（篠崎委員長：竹中工務店）

構 成	正会員：8社(8名)
年度事業計画	環境にやさしく安全で魅力的な都市型集合住宅の実現に資する調査研究を通して、21世紀における良好な都市居住環境の形成を促進する。
実施内容	<p>1. 第1回委員会：2024年4月18日(木) 開催</p> <p>(1) 各研究会・分科会の2023年度事業報告と2024年度事業計画の審議</p> <p>(2) 次の新規テーマの検討</p> <p>(3) 調査研究成果の普及・PRに関する検討</p> <p>(4) 協会関連活動の報告</p> <p>2. 第2回委員会：2024年7月18日(木) 開催予定</p> <p>(1) 各研究会・分科会の第1四半期の活動状況と今後の活動計画の審議</p> <p>(2) 新たな都市居住環境に関する情報及び意見交換</p> <p>(3) 協会関連活動の報告</p> <p>3. 第3回委員会：2024年10月17日(木) 開催予定</p> <p>(1) 各研究会・分科会の上半期事業報告と下半期事業計画の審議</p> <p>(2) 新たな都市居住環境に関する情報及び意見交換</p> <p>(3) 協会関連活動の報告</p> <p>4. 第4回委員会：2025年1月16日(木) 開催予定</p> <p>(1) 各研究会・分科会の第3四半期の活動状況と今後の活動計画の審議</p> <p>(2) 2025年度 功績賞・功労賞への候補者推薦に関する協議</p> <p>(3) 協会関連活動の報告</p>
委員会開催	年4回開催：4/18, (予定)7/18, 10/17, 1/16

都市環境研究会	
	マンションLCP分科会 （村田主査：清水建設）
構成	正会員：4社(4名)、協力委員：4名、オブザーバー2名
年度事業計画	1. マンションLCPに関する社会動向等の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体のLCPに関する制度・施策等の調査 ・LCPマンション先進事例、企業のLCP支援の先進事例等の調査 ・令和6年能登半島地震でのLCP対応事例等の調査 2. 生活継続力評価Webシステム「LCP50+50」の普及・PR
分科会開催	適宜(年6回程度)開催：4/23
住宅計画研究会	
	次世代住空間分科会 （小野澤主査：三井住友建設）
構成	正会員：8社(9名)
年度事業計画	1. 次世代の集合住宅のモデルとなる先進事例の調査研究（視察、文献調査等） <ul style="list-style-type: none"> ・CLT等の木造木質化、コミュニティの活性化、スマートシティ、グッドデザイン賞、等の動向調査を継続 ・注目物件の情報を収集し、完成時に見学会を開催 ・講習会や展示会等にも幅を広げて参加 2. 調査報告書の協会ホームページでの公開等を通じた情報共有
分科会開催	適宜(月1回程度)開催：4/1, 5/13, (予定)6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 11/11, 12/2, 1/14, 2/3, 3/3
	都市型住宅分科会 （森本主査：日本設計）
構成	正会員：10社(10名)
年度事業計画	1. テーマ「超高層住宅を看取る」として、超高層住宅の寿命、それに関わる価値の維持の面から見た成功例と失敗例やユニークな取り組みについての調査・研究の継続 2. 低層高密度共同住宅、木造の町屋・長屋の実態調査と立地都市との関わりあいの調査分析の試行 3. 老朽化した高層・超高層住宅の大規模リノベーションの提案に向けての検討 4. 共同住宅と非住宅用途相互のコンバージョンにおける課題の調査検討 5. 各委員の設計実績をラウンドテーブルミーティング形式で意見交換
分科会開催	適宜(月1回程度)開催：4/11, 5/9, (予定)6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13, 3/13
エネルギーシステム研究会 （二宮主査：東京ガス）	
構成	正会員：13社(13名)
年度事業計画	1. 住宅分野におけるIoT要素を含めた新技術、EVの活用を含めたレジリエンス対策等の最新動向に関する調査・研究 2. 新しい省エネ住宅やZEHに関わる建築、設備及びエネルギーシステム等について、建築物省エネ法の改正を受けての政策動向、市場調査・研究（視察、文献調査等） 3. 建築物省エネ法における換気システムの一次エネ評価における、評価合理化対応策の検討。
研究会開催	適宜(年6回程度)開催

長寿命建築システム研究委員会等	
組 織	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 2px solid black; border-radius: 10px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">長寿命建築システム研究委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">長期優良住宅等検討部会 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">技術インフラWG <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">耐震性能に基づく性能表示検討部会 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">超高層住宅長寿命化WG <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">木質ハイブリッドWG </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※網掛けは2024年度からの新規組織を示す。</p>
長寿命建築システム研究委員会（榎村委員長：竹中工務店）	
構 成	正会員：7社(8名)、個人会員：2名
年度事業計画	当協会のこれまでの研究成果を活用し、「建築の長寿命化」という観点で、長期優良住宅等の長寿命建築に関わる技術基盤整備と普及促進に向けた新たなタスクフォース研究を設定して取り組む。
実施内容	<p>第1回委員会：2024年6月27日(木)開催予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会・各WGの2024年度事業計画の審議 2. 当委員会関連活動の普及推進に関する検討 3. 協会関連活動の報告 <p>第2回委員会：2025年3月27日(木)開催予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会・各WGの2024年度事業報告と2025年度事業計画の確認・検討 2. 次年度以降の部会・各WGの活動における提案 3. 協会関連活動の報告
委員会開催	年2回開催：(予定)6/27, 3/27
長期優良住宅等検討部会（吉田部会長：長谷工コーポレーション）	
構 成	正会員：20社(20名)、賛助会員：1社(1名) 協力委員：1名（国土技術政策総合研究所） オブザーバー：4名（国土交通省、都市再生機構、住宅金融支援機構）
年度事業計画	「長期優良住宅」等の関連施策に対応し、協会としてこれまで蓄積した建築・住宅の長寿命化に関する技術・知見を活用し、長寿命集合住宅の普及促進と進化向上を目的とする調査研究を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国土交通省住宅関連施策動向の調査 2. 長期優良住宅の認定要件・技術基準の見直しへの検討 3. 長期優良住宅認定物件（マンション）の情報収集
部会開催	適宜開催：

技術インフラWG（山崎主査：個人会員-国際建設技術情報研究所）	
構成	正会員：8社(8名)、個人会員：1名、オブザーバー：1名
年度事業計画	<p>既存集合住宅を含むエリア整備においてホールライフカーボン削減に向けて先進技術を含む脱炭素化・防災性能向上技術を活用したエネルギーシステムを効果的に導入するための既存改修型脱炭素化モデルの検討を目的とした活動を行う。(公募事業に適宜応募)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存集合住宅を含むエリアレベルの合理的な省エネ・脱炭素化目標の検討 2. 先進技術を含む脱炭素化・防災性能向上技術及びその導入事例の収集・分析 3. 脱炭素化・防災性能向上技術を活用したエネルギーシステムのあり方の検討 4. 既存改修型脱炭素化モデルの検討
WG開催	年4回開催：5/21. (予定) 7/9, 9/10, 11/12
耐震性能に基づく性能表示検討部会（楠部会長：東京大学地震研究所教授）	
構成	正会員：8社(10名)、協力委員：2名(大学)、オブザーバー：3名
年度事業計画	<p>「大規模地震発生後のRC造共同住宅の継続使用性評価手法に関する検討」をテーマとし、「応答に基づく損傷制御性等の評価手法技術の構築とその普及の検討、及び地震後継続使用性能の評価基準整備に資する検討」を事業名として活動する。(採択事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震時の部材の損傷低減に効果のある新技術を対象に構造実験を実施することで、当該技術を使用したときの建築物の応答に基づく損傷制御性等の有効性を検証し、評価方法を構築する。 2. 上記1.の結果に基づき、評価方法基準等への地震後継続使用性能の評価基準の整備に資する技術資料をまとめる。
部会開催	適宜開催：
超高層住宅長寿命化WG（齋藤主査：住総研）	
構成	委員：8名（正会員, 個人会員 他）、協力委員：1名（国土技術政策総合研究所） オブザーバー：12名（大学, 正会員 他）
年度事業計画	<p>既存超高層住宅の長寿命化のための現状分析及び改修課題の検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. R6年度補助事業の公募を確認し、提案書類の作成・提出（採択事業） 2. 対象となる既存案件のデータベースの作成 3. 構造・設備等による分類と課題の検討 4. 共用部の施設による分類と課題の検討 5. 外装仕上げ材の課題検討と長寿命化につながる材料の検討 6. 成果報告のまとめと水平展開の実施
WG開催	適宜開催：4/24, 5/22 (予定) 6/19, 7/17, 8/21, 9/18, 10/16, 11/20, 12/18, 1/15, 2/19, 3/19

木質ハイブリッドWG（増田主査：清水建設）	
構 成	運営委員会委員へWGへの参加依頼書を4/23付で提出し、5月末までにWGメンバーを決定予定。
年度事業計画	<p>環境負荷の低減、国土の保全の観点から木質材料の有効な活用が望まれている。中高層木造建築物の建築は未だ低調であり、技術開発による更なる普及促進が求められている。他方で、解体された木造建築物から採取される木材が再利用されることは少ない。カーボンニュートラルへの更なる貢献のため、既存建築物にストックされている木材を再利用する方法も検討する。（採択事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定尺寸法木材を用いたロングスパン重ね梁の開発 2. 要素実験、実大実験による重ね梁の構造性能評価 3. 既存建築物のストック木質材の再利用に関する研究
W G 開 催	適宜開催